

笠松らしさあふれる「たまり場おもてなし処」スタートに向けて 「まちの駅」動き出す

「まちの駅」やろまい会 が始動しました

町民有志による【「まちの駅」やろまい会】が発足し、「まちの駅」スタートへの準備をしています。

このやろまい会では、「個性的な町民のネットワークをつないで町民の力を結集しオリジナリティーあふれるまちづくりをすすめる、町を元気にしていく」ことを目的に、笠松らしさあふれる「まちの駅」を目指して会合を重ねています。

「まちの駅」を訪れる際の目印となるオリジナル看板や、スタート後の笠松町のまちづくりなど、多岐に渡る話し合いが進められています。

笠松町での「まちの駅」スタートに向け、今まで以上に町民の皆さんに「まちの駅」を知っていただくため、やろまい会主催による説明会が開催されます。（右ページ参照）



「まちの駅」の展開方法を車座で議論されるやろまい会の皆さん

「駅」という名の「たまり場」は全国で約1,500カ所



人・まちをつなぐ「まちの駅」は、まちの窓口としての案内機能、人の交流を促進する交流機能などを持ったものです。「アートの駅」「木工の駅」「お菓子の駅」「お茶の駅」「健康の駅」など、さまざまなテーマの名前を掲げた「駅」がまちなかに点在し、おもてなしの心で接する駅長さんが出迎えていただけます。また、さまざまな「駅」をつなぐネットワークが組織され、今までになかった元気なまちづくりの取り組みが全国で展開されています。

「まちの駅」と「道の駅」は違うの？

	まちの駅	道の駅
だれがつくるの？	だれでもOK	市町村など公的機関
どこにつくる？	どこでもOK	国道や道路沿い
つかうのは？	まちを歩く人が中心	車を利用する人が中心
特徴は？	おもてなしの心で接する駅長さんとの出会いがある	24時間使用できる駐車場・トイレ・電話や、案内施設などがある